



戦略計画立案のワークショップをやってみましょう



第3地域 ロータリーコーディネーター 滝澤 功治 (神戸須磨 RC)

ロータリーを進めていくには戦略計画が重要です。全世界で 200 を超える国・地域に展開するロータリーは異なる価値観を持つ多様な人々によって構成されています。このようなロータリーの今後の進むべき道筋を示すのがロータリーの戦略計画（行動計画）です。現在のロータリーの戦略計画は「行動計画」として4つの優先事項（①より大きなインパクトをもたらす、②参加者の基盤を広げる、③参加者の積極なかかわりを促す、④適応力を高める）が示されています。

2022年6月26日、第2730地区（鹿児島・宮崎）において、井福直前ガバナーの強いリーダーシップの下、クラブ活性化セミナーが開催されました。地区内から150人を超えるガバナー補佐や各クラブのリーダーが集まり、実際にクラブの戦略計画を作る「戦略計画ワークショップ」が行われました。今回のワークショップは、RIの「戦略計画立案ガイド」に沿って進められました。具体的な手順は次のとおりです。まずは「クラブの健康チェック」でクラブの現状（クラブの強みと弱み）を把握します。次いで「元気なクラブづくりのために／クラブリーダーシッププラン」や「会員の満足度アンケート」で会員のクラブに対する満足度や不満に感じていることを把握し、その結果をもとにクラブの「戦略的課題」は何かを確認します。そしてそのような課題を解決する具体的方法（道筋）を考えることによって、クラブの戦略計画が完成します（以上の資料はすべて My ROTARY に戦略計画のリソースとしてアップされていますので、これを予めダウンロードして使用します）。第2730地区のワークショップでは、クラブリーダーらがそれぞれのクラブの抱える課題について終始熱心に議論しながら戦略計画の立案に取り組み、素晴らしい成果を挙げました。

終了後、「戦略計画」という名称についての質問がありました。この名称に違和感を覚えるということであれば、かつて使用していた「長期計画」でもよいし、「未来計画」でもよいと思います。大切なことはクラブの現状を把握し、課題を確認してその解決の方向性を示すことです。そして、クラブやそれを取り巻く地域の変化に応じて柔軟に修正することも重要です。

戦略計画を立て、それに沿って行動している地区とクラブは、戦略計画がない地区とクラブよりも柔軟に変化に対応できることが分かっています。また、戦略計画を立案すれば、現状分析を行い、課題を克服して目標達成に向けて長期的に取り組むことが可能となります。さらに、リーダーが年度ごとに交代しても、一貫性をもって地区とクラブを発展させることができます。

あなたのクラブは戦略計画（行動計画）を作っていますか。



ロータリーの公共イメージの重要性について



第3地域 ロータリー公共イメージコーディネーター 丸尾 研一(神戸西神 RC)

RIは戦略計画の中に「参加者の基盤を広げる」がありますが、まずはロータリーの認知度を高めなくてはならないと思いますがウルトラCはない。先ず一人ひとりのロータリアンがロータリーの会合に行くときだけではなく、いつもロータリーバッジを身に着ける、奉仕活動、イベント等でロータリーグッズ（ポロシャツ等）を身に着ける、車にポリオのステッカーを貼る、ちなみに私の車にはポリオステッカーを貼っていますが、なかなか格好いいですよ、そしてもっと大切なのは、ロータリアン一人ひとりが情報を発信すること、私たちはロータリーについて説明するために、いろいろな情報を入手し、適切に説明できなければなりません、そして私たちがロータリーで経験した感動的な体験について話すことも大切です。普段からコツコツとロータリアンとクラブが、地道に奉仕活動を続け、認知してもらい、好意をもってもらい、そして今後に期待してもらう、この繰り返しはロータリーブランドの向上に繋がるものと確信しております。

第3地域では、ロータリーコーディネーター（RC）、ロータリー財団地域コーディネーター（RRFC）、ロータリー公共イメージコーディネーター（RPIC）とそれぞれ3名の地域コーディネーター補佐で編成されていますので、是非ご活用いただければ幸いです。ロータリーは、世界中の地域社会でロータリーに対する認識を高めるために、歯車と Rotary の文字を並べて表示した新しい公式ロゴを作成しました。もっと多くの人にロータリーの活動を知ってもらうために、どんどんご利用ください、但しサイズとか色は事細かく決まっていますので My ROTARY 内のブランドリソースセンターを参照してください。私が入会したころは（1989年）「陰徳の美学」を教えられ、最初は どうして PR しないのか疑問に思っていたのですが、徐々に陰徳の美学に傾倒していった。そもそも広報ということをあまり考えてこなかった気がしますが、あらゆる情報が溢れている今の時代こそ広報が必要ではないでしょうか。是非ロータリアン一人ひとりが強力な広報パーソンであるという自覚をもってもらい、各クラブで広報マインドを高めて奉仕活動の広報にチャレンジしましょう。